

教え子を再び戦場に送るな！

5月1日はメーデー 今、働く者の団結が重要な時代

第79回大阪メーデー 扇町公園と豊能地域メーデー（豊中：大門公園） なくせ貧困と格差 働くルールの確立を

メーデーって

労働者の日としてのメーデーは、1886年5月1日にアメリカの労働者35万人が8時間労働制を要してストライキに立ち上がったのが起源。

1日12時間から14時間労働が当たり前だった当時、「8時間は仕事のために、8時間は休息のために、残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」を目標に行なわれました。

1890年、アメリカの労働者のたたかい（運動）に、ヨーロッパの労働者が呼応。世界的な労働者の祭典として第1回国際メーデーが行われました。

日本では

1920年5月2日日曜日に第1回のメーデー（主催…友愛会 司会者…鈴木文治）が上野公園で行われ、

「八時間労働制の実施」「失業の防止」「最低賃金の制定」などを訴えました。

広がるたたかい

非正規雇用や派遣労働者が団結し、たたかいを始めています。教職員のおかれらる状況も、長時間多忙が恒常化し、我慢の限界です。

第79回大阪メーデー

メインスローガン

「働く者の団結で生活よ権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」

サブスローガン

「なくせ！貧困と格差。働くルールの確立。労働時間短縮で雇用の拡大を」

「ストップ！改憲、海外で戦争する国づくり。米軍基地の再編・強化反対」

「政治の民主的転換で、安心して暮らせる社会を実現しよう！」

場所 大門公園 時間 9時半



2008年4月30日
NO. 416

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

とよなか

全教豊中教職員組合

「教員の働きすぎを認定」 — 京都地裁 —

4月23日、超過勤務を放置した京都市を相手に超過勤務手当の支払いなどを求めた裁判で、原告の訴えの一部を認め、違法行為による損害賠償の支払いを命じました。

大企業東芝でたたかう 労働者が—差別是正

世界的大企業東芝で、働きやすい職場の実現をめざして活動していた労働者を排除するため昇進・昇格差別を行ってきた事件で全面和解にいたりました。数十年におよぶ東芝でのたたかい。全労連などが全国的に争議支援してきました

たたかってこそ
要求実現

青年も、民間でも
そして、公務も！

偽装請負告発—松下プラズマ 派遣先に雇用義務

4月25日、大阪・松下プラズマディスプレイで働いていた吉岡さんが偽装請負を告発し、解雇されたのは不当だと訴えていた大阪高裁判決がありました。大阪高裁は吉岡さんの訴えを全面的に認める判決をくだしました。

退勤調査結果公表し 勤務・労働条件改善を

昨年、9月に市教委がおこなった退勤調査。全教は長時間労働・多忙化解消のためにこの調査結果を早急に公表するように求めてきました。

昨年秋の対市交渉時から示すように求めてきましたが、「まだ、まとめができていない」と時期をずるずる延ばしてきました。

連休明けには、明らかにするとしていきます。

「9条の会」全国7000をこえる

平和憲法を日本のすみずみに広げよう！ 世界に広げよう！



ゴールデン
ウィーク
のとりくみ

市民パレード

ーNとよなか
めっちゃええやん！

9条

5月3日(土・祝)
午前11時〜12時頃

コース… 豊中市役所前広場集
合↓国道176号線に沿って
豊中駅前までパレード

主催…

九条の会・豊中いちばん星

★ 06年、07年に続いて3回目
の市民パレードです。合言葉
は「めっちゃええやん！9条」。

9条世界会議・関西

5月6日(火・祝)
午前10時〜4時半

場所 舞洲アリーナ

参加協力券 一〇〇〇円

内容

- ・ソウル・フラワー・ユニ
オンのライブステージ
- ・小山乃里子さん&香山リ
カさんの対談
- ・ワークショップ
- ・若者 九条トーク など

自民・公明・民主の
議員が改憲議員同盟
「9条の会」に対抗し
た運動をよひかける

読売新聞でも「憲法9条を
かえない」という意見が「か
える」を久しぶりに上回りま
した。

憲法を変えようとする国会
議員の勢力は、こうした世論
の変化に「9条の会」が大き
く影響しているとして、名指
して“草の根”から運動を
展開するとしています。

9条世界会議・関西

2008年5月6日(火・祝)
午前10時〜午後4時半(予定)
舞洲アリーナにて開催!

「めっちゃええやん!」世界

世界は9条を
えらび始めた。

2008年5月6日(火・祝)
午前10時〜午後4時半(予定)
舞洲アリーナにて開催!

講演者プロフィール

舞洲アリーナ 1階 1000円 入場券 希望者500円
舞洲アリーナ 1階 1000円 入場券 希望者500円

私たちのまち 豊中の歴史 地名が語る 1

「豊中」
高市 光男（元豊中市・校長）

私が豊中に流れ来て五〇年が近い。田舎まで教員の募集に來られたT校長は

「東の鎌倉・西の豊中」と誇らしげに語られた。私にとつては初めて聞く市だが、そんな市で教育や町づくりに参加できることをうれしく思った。

豊中という地名は、明治22年（一八八九）町村制の施行により、江戸時代から続く村々を合併し新しい村をつくったことにはじまる。この時、新免・轟木・山ノ上・岡町・桜塚が合併し豊中村となった。当時の豊嶋郡（現在の池田・箕面・豊中の境域）の中央に位置するということであつた名である。その時、北豊島・中

豊島・南豊島という村も生まれた。

豊島郡の中央だからというのは単純かもしれないが、豊かな町づくりを！という想いで、住宅開発もすすみ、豊中町となり、昭和11年（一九三六）麻田・桜井谷・熊野田を合併して市制を敷き、戦後、昭和22年中豊島・南豊島・小曾根村を合併、28年には上新田、30年には庄内町を合併して今日の豊中ができた。（豊島郡の中央につけた名も、合併の進行によつて旧豊島郡の南部をその境域に収めることとなつた。）

さて、豊中のもとになつた「豊嶋」の歴史は古く、古事記（七二二年）に手

嶋連（むらじ）という豪族が登場し、続日本紀（七六九）に摂津国豊嶋郡の地名がある。当時は豪族名・地名は一体であることか多く、人名が先か地名か先かとは言い難いが「豊」のルーツはここに始まつている。

大和朝廷は、地方の豪族に対して、みめ麗しき子女を貢進（人質）せしめた。

その一人豊嶋采女（うねめ）の歌が万葉集の天平十年（七三八）の条に載せられている。右大臣に嫁した采女が、一度田舎（豊嶋）に帰りましよう、とせがむの

だが、忙しい忙しいと言を左右にして連れて帰つてくれないと嘆くのだつた。

もしもきの大官人は
今日もかも

暇（いとま）を無みと
里に去（ゆ）かずあらむ

豊嶋采女

豊島郡は、古代・中世・近世と続き、明治29年能勢郡と合併豊能郡となる。



元小学校校長で豊中市の教育研究所長でもあつた高市光男さんに「豊中の歴史—地名は語る」を連載（全6回）していただきます。